

第 19 回夏休み伊勢湾発見ツアー
湾内遊覧で夏休みの思い出を作る

暑い日射しの晴天に恵まれた 7 月 22 日、「第 19 回夏休み伊勢湾発見ツアー」が名古屋港で開催され、一般公募で当選した小・中学生とその家族 77 組（235 人）が、伊勢湾フェリー株式会社の「伊勢丸」に乗船し、中部国際空港付近を周遊する約 3 時間の伊勢湾遊覧を楽しんだ。

乗船セレモニーは太平洋フェリー株式会社の佐藤雄亮職場委員が司会を務め、中部運輸局海事振興部から「日本は周囲を海で囲まれており、伊勢湾発見ツアーでの体験を通じて、良い思い出を作り、海や船に親しみをもってほしい」とのメッセージが伝えられた。

船内には、手旗信号の紹介、救命胴衣の着用指導、クイズラリーなどさまざまな体験コーナーがあり、子どもたちが楽しめるイベントになっている。中でもブリッジ見学は人気があり、普段入ることのできない船橋（ブリッジ）で、乗組員から船舶の設備について直接学ぶことのできる体験に子どもたちは目を輝かせ、熱心に話を聞いた。

航行中の「伊勢丸」が中部国際空港に近づき針路を変えると、第 4 管区海上保安本部のヘリコプターが本船上空を周遊し、大人も子どもも大興奮の中で写真撮影を行った。

湾内遊覧を終えて名古屋港に帰港すると、子どもたちは船上からスムーズな係船作業を見学し、参加者は日ごろ体験できない洋上での体験と思い出を胸に帰路に就いた。

「海員だより」